

# 震災復興地域懇談会記録

開催日時：小本地区会場 平成23年7月4日（月）午後7時～9時  
 小成地区会場 平成23年7月5日（火）午後3時～5時  
 中野地区会場 平成23年7月5日（火）午後7時～9時  
 中島地区会場 平成23年7月6日（水）午後7時～9時

## 1. 生活の再建

### 発言趣旨

(1)住宅の確保

発言1（小本）  
 ・ 予算の見通しが立たない問題もあるようだが、全壊・流失した方々のために代替地の見通しがあれば聞かせてもらいたい。  
 ・ 小本地区では生き残った家が40戸ほどある。今はゴミ処理の問題も解決されつつあるが、郵便ポストがないことから、2ヶ所ほど作って欲しいと郵便局長に訴えたが、「小本地区は危険地帯のため設置できない」ということだった。  
 ・ 今は、小本地区で住宅を修繕してそこに住む気で頑張っているが、そのような危険地帯ということになると、現在仮設住宅にいる人の中には不安で小本地区に居れない人も出てくる。  
 ・ 小本地区が安全になるならば、代替地というよりも元の場所で暮らしたいという希望を持っている。  
 ・ 小本地区の安全を回復するために、どのような計画が立てられているのか、どのような工事をすれば安全が回復できるのか、専門家らの説明を伺いたい。  
 ・ 今は、小本地区で住宅を修繕してそこに住む気で頑張っているが、そのような危険地帯ということになると、現在仮設住宅にいる人の中には不安で小本地区に居れない人も出てくる。

発言2（小本）  
 ・ 現在、小本の浸水区域内で住宅を改修して住んでいる人も結構いる。また、現在改修中の人もあり、行く行くはある程度の人数が浸水区域内に住むことになると考えると、今後、防潮堤等の防災施設整備を充実させ、浸水区域内に住んでいる人々を安心させて頂きたい。  
 ・ アンケート結果を見ると「安全な場所に移転したい」という意見が多い。30日の復興委員会に係るTV・新聞報道によると、町では移転先を3案（三鉄駅周辺、カモイカの町有地、大牛内地区）示しているということであったが、アンケート結果からも背後地を含めた三鉄駅周辺の希望者も多い。町としては、そのような場所の確保の見通しを持っているのか。中野バイパスとの関連もあるので、町の見解を聞かせてもらいたい。

発言3（小本）  
 ・ 国会も2次補正予算を審議中で、町長の言うとおりの財政的に厳しいのは理解する。そこで土地収用として一番安いのは、町有地のカモイカであるが、一部造成が必要であり、距離的にも若干遠い。  
 ・ しかし、小本浜園地の周辺であれば、R45にも近くなり、代替地として良いのではないかと。  
 ・ 国立公園や魚つき保安林などの法的規制については不明だが、小本浜園地の周辺での宅地造成について町長の考えを伺いたい。）

発言4（小本）  
 ・ アンケート結果には移転を希望するほうが多かったが、今住んでいるところに住み続けたいと思っている。  
 ・ できることなら小本を防災の観点から整備し、小本の人たちがあまり散らばらないで、安心して暮らせる町にして頂きたい。  
 ・ 今回被災を受けた小本地区は、昭和8年の津波の際には被災しなかった。津波が小本川の方に流れていった。これを考えると水門を造ったことにより、津波が小本の集落に一気に押し寄せたとも考えられる。  
 ・ 水門は要らないのではないかと、思い切って撤去してはどうか。どうしても必要なら、津波の勢いを和らげるために川に津波を逃がすための改変について検討できないだろうか。  
 ・ 小本の堤防を国道の高さまで嵩上げし、堤防の端に頑丈な石でピラミットのような山を造ってもらいたい。たぶん幅は18mぐらいになると思われるが、そうすれば小本の人たちは津波に対して不安を感じなくなるのではないかと考えている。  
 ・ もちろん、堤防を道路にしないと積み上げた山を下りたり上がったりできないと思う。  
 ・ また、集落の地盤は2mでも3mでも嵩上げて頂きたい。

発言5（小本）  
 ・ 小本に残りたいが、あの津波を見た上では、家族のことを考えると、移転したい。  
 ・ カモイカという案が出ているが、あそこは盛土したところであり、沢もあるので、豪雨の際の影響が心配である。）

発言6（小成）  
 ・ 以前、町長は、水門建設はお金もかかるし、時間もかかることから、町で家一軒建ててあげたほうがいいと言っていたが、どのような考えか。

	<p>発言7 (中野)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>被災地を買い上げて欲しい。</li> <li>従前と同じ坪数で中野なら中野の駅の向こうに代替地を用意してもらわないと始まらない。</li> <li>岩泉町で町営住宅を建ててくれるなら、2年～3年先に仮設住宅を出たときに、そこに入るという選択も可能になる。</li> <li>アンケートは結構だが、町として方向性を示してくれないと前が見えず決められない。</li> </ul>
	<p>発言8 (中野)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家を無くした人たちは本当に気の毒だが、浸水区域内に住宅があるのはとても心配。</li> <li>大牛内地区の実家にいる間は非常に安心できる。</li> <li>千年に一度というが、ラジオでは30年以内に87%の確率で大きな地震が起きると言っている。</li> <li>高いところの方が安全なのではないか。早く津波の心配のないところに住宅を造ってあげて欲しい。</li> </ul>
	<p>発言9 (中野)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校の前に住んでいるが全壊した。</li> <li>漁業権もあるので、小本の地区内で安全安心な場所に移転したい。</li> </ul>
	<p>発言10 (中島)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果によると、移転先として浸水区域外が一番多い。</li> <li>移転先はどこを想定したものか。中島地区は土地がなく難しいのではないか。</li> </ul>
(2)社会生活基盤の再生	<p>発言1 (小本)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校については、今のままが一番安いいし、特に小学校については避難道路もでき、校舎もそんなに痛んでいないので、子供たちのことを思えば、早く戻したい。</li> </ul>
	<p>発言2 (小本)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果では、小学校については改修案が多いようだが、低学年生は岩泉との気温差の影響が大きいため、できれば改修案で授業再開を検討して欲しい。</li> <li>中学校については、しっかりと防災対策をしてもらいたい。</li> </ul>
	<p>発言3 (小成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校の被災が比較的軽いので、復旧して使えるようにして欲しい。岩泉小学校への通学は親たちも疲弊している。冬場はもっと大変になると思われる。</li> <li>移転案には反対ではないが、移転が実現するまでに何年かかるかわからない。それまでの間小本小学校を usable するようにお願いしたい。</li> </ul>
	<p>発言4 (小成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校の移転先として、アンケート結果はカモイカとあるが、カモイカでは狭く問題も多い。</li> <li>灯台の上の豊岡の方が広くて水の供給もありアクセスも良い。</li> <li>開墾塚まで広げれば農地もでき用地が相当広く確保できる。</li> <li>移転場所としては最適である。</li> </ul>
	<p>発言5 (小成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>このコミュニティーセンターは昭和23年のアイオン台風の時に建てられた。地震の際には倒壊の恐れがあるので、建て直して欲しい。少なくともトイレは直して欲しい。</li> <li>発電機もない状態である。</li> </ul>
	<p>発言6 (中野)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中学校の隣の家が全壊した。中学校を同じ場所で再建させる案には反対。</li> <li>体育館、校庭も教育の場であり、放課後の部活動などの利用があることから反対する。</li> <li>一部集落が分かれてもやむを得ないので、お金のかからない方法での集団移転を希望する。</li> </ul>
	<p>発言7 (中野)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供たちにとって18kmの通学は正常な状態ではない。</li> <li>中学校はクラブ活動もあるので、あまり津波にこだわっているのはどうか。</li> </ul>
	<p>発言8 (中島)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩泉の保育所が新しくなって遊具なども使えるが週に一回だけ。</li> <li>普段は大牛内に通うが外では遊べないので、保育料とサービスの内容を比べると損をしている気がする。</li> <li>保育所の仮設移転地についても情報の公開がない。</li> <li>保育所に男性も入れて欲しい。役場の職員でも良い。</li> </ul>
	<p>発言9 (中島)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩泉小学校に通っているが、みな自分たちの学校に戻りたがっている。</li> <li>自分たちの学校という意味は、元の校舎という意味ではなく、間借りではないという意味。</li> <li>子供たちは岩泉の学校に行くたびに被災者意識を覚えて帰ってくる。</li> <li>平成25年度までの間、自分たちの校舎に通わせることはできないのか。</li> <li>小学校や中学校、保育所などの公共施設を集中させられないか。国土交通省は先に道路の位置を決めてしまった。どんどん場所がなくなっている。</li> </ul>
	<p>発言10 (中島)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>たまたまあの時間に津波が来たから被害が少なかった。他の時間だったら危なかった。</li> <li>防潮堤も防潮林もない現状で津波がきたら、子供たちを集めるだけで時間がかかってしまい危険である。</li> </ul>

	発言11 (中島) <ul style="list-style-type: none"> <li>安全面を考えると小本小学校の再開はあり得ない。命はお金で買えない。</li> <li>実際に津波が来たとき子供たちは避難場所から動けなくなった。</li> <li>そのような場所に仮設とはいえ、小学校の再会はあり得ない。</li> </ul>
	発言12 (中島) <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果をみると保育所の移転先として中島地区が22人と多い。</li> <li>旧中島分校の跡地があるので利用できないか。</li> </ul>
	発言13 (中島) <ul style="list-style-type: none"> <li>小本支所の移転先の候補地は決まっているのか。</li> </ul>
(3)保険・医療・福祉の充実	発言1 (小本) <ul style="list-style-type: none"> <li>小中学生が岩泉の小中学校に通っているが、非常に精神的にまいっていると感じている。</li> <li>大人たちもまいっているが、子供たちが先にまいらなければいいなと危惧している。</li> </ul>

## 2 . 防災体制の強化

(1)防災設備の復旧・強化	発言1 (小本) <ul style="list-style-type: none"> <li>堤防案という話が出たが、以前に豪雨対策の際には河川堤防の高さには上限があると言われた。</li> <li>現在、堤防の嵩上げ以外の諸対策により豪雨による水害の危険性は無くなったが、今度は河川堤防ということではなく、津波堤防という名目にして整備してもらいたい。</li> </ul>
	発言2 (小本) <ul style="list-style-type: none"> <li>小本の復旧は漁業の復旧である。</li> <li>山を削る、盛土をするという話もあるようだが、今まで住んだ町を繁栄させるには、防災が一番であると考えます。</li> <li>雷山の浜見から高い堤防を鉄筋コンクリートなどで建設して、水門にすり付ければ、相当の被害が防げられる。</li> <li>このような防潮堤案の方が、建設費的にも安く済むのではないかとと思われる。</li> </ul>
	発言3 (小成) <ul style="list-style-type: none"> <li>三陸北縦貫道路はこの復興計画にあるか。</li> <li>ルート案は出ているか。</li> <li>小成地区にかかるか。</li> </ul>
	発言4 (中野) <ul style="list-style-type: none"> <li>広報に消防の人が津波来襲時に水門を閉じられなかったと書いていた。全面的に遠隔操作を考えて頂きたい。</li> <li>中野地区は堤防さえ高くして貰えれば大丈夫だと思っている。</li> </ul>
	発言5 (中島) <ul style="list-style-type: none"> <li>三陸北縦貫道を防波堤として利用できないか検討して欲しい。</li> </ul>
(2)情報伝達手段の確立	発言1 (中島) <ul style="list-style-type: none"> <li>基本計画・骨子案には、情報伝達手段の確立とあるが、電話は被災時には繋がらず、近所の黒電話は繋がった。</li> <li>防災無線で伝えて欲しい。</li> <li>黒電話をとこどこに設置して欲しい。</li> </ul>

## 3 . 産業経済の発展

(1)地場産業経済の再生・復興 漁業	発言1 (小成) <ul style="list-style-type: none"> <li>わかめ養殖について、今は種付けの時期だが施設がない、吊すところもないという状況である。何か対策はあるか。</li> </ul>
	発言2 (小成) <ul style="list-style-type: none"> <li>家は流されなかったが、倉庫や車など家財も流された。なんとかならないか。</li> </ul>
	発言3 (小成) <ul style="list-style-type: none"> <li>茂師漁港は県の管理だが、町の方で何か案を出すのか。</li> </ul>
農業	発言1 (小本) <ul style="list-style-type: none"> <li>水田にガラスの破片や針金など、いろいろなものが入っている。トラクターが入ると爪が折れる。できれば重機で土を掘り返して欲しい。</li> </ul>
	発言2 (中野) <ul style="list-style-type: none"> <li>町のビジョンが示されれば、移転や元の場所など個々の判断が出せるようになる。</li> <li>小本駅周辺では耕作放棄地などもあるので、農地を集約するなど、町で調整するのが望ましい。</li> </ul>
(2)雇用の創出	発言1 (中野) <ul style="list-style-type: none"> <li>移転先については皆の意見が違うので、最終的には国や県には押し切ってもらえない。</li> <li>菜園付きの区画の土地を用意してもらって、他市町村から被災者を誘致した構想のほうが、小本の将来のためになるのではないかと。</li> <li>被災者の雇用創出にもなる。</li> </ul>
	発言2 (中島) <ul style="list-style-type: none"> <li>避難所に行ったが何もなし。せめてトイレや座る場所、石油ストーブが欲しい。</li> </ul>